

会 議 録 要 旨

(1) 会議の名称	第3回 北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会
(2) 開催日時	平成27年1月29日(木曜日)午後7時～9時15分
(3) 開催場所	越前市市民ホール 2階 第3会議室
(4) 出席委員氏名 (50音順)	飯田委員、桶谷委員、川上委員、河崎委員、河瀬委員、河野委員、笹川委員、清水委員、富田委員、中桐委員、平井委員、福岡委員
(5) 欠席委員氏名 (50音順)	南保委員、平戸委員、山田委員
(6) 会議議題	第3回委員会の検討内容と論点の整理 基本テーマ等の検討 他
(7) 傍聴者の数	21人
(8) 会議資料名称	北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会第3回資料【本編】 北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会第3回資料【参考資料】
(9) 会議の内容の 要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報交流会館の機能として、武生 IC、国道8号も近いことから、新幹線利用者だけでなく、道路利用者もターゲットとし、駅舎の外に整備する。 ・ 上記ターゲットに加え、地域住民も集まれるような機能として、(1) 伝統産業が多い丹南地域への案内機能、(2) 地域住民も利用できる直売所、(3) 地域住民や地元の大学等が使える、来訪者も参加できるイベントスペース等の道の駅的な機能が考えられる。 ・ 工芸の里、中心市街地に対する南越駅の役割として、それぞれの拠点を結ぶガイド役が求められる。その点で、駅に滞在するだけでなく、越前市の各エリアに足を運んでもらえるような機能が必要である。 ・ いかにか人を呼び込むかという観点で見れば、ハイウェイオアシスのような形では、人は通過するだけなので、地域に波及していかない。いかに高速道路を降りてもらえるか、2つのまちなかや伝統産業の各拠点と南越駅をどう結ぶかを考える必要がある。 ・ 多目的広場の機能として、地域の人が集まる場をつくる一方、多目的広場を目的地とせず、情報交流会館へ来た人も立ち寄るような機能とすることも考えられる。 ・ 情報交流会館や多目的広場等について、コンセプトに即した一体感のある修景がなされるとよい。 ・ 既存武生 IC の高速バスパーク・アンド・ライド駐車場が飽和状態なので、その機能を検討する。 ・ 公共交通(バス、タクシー)、送迎車の規模等の前提条件と修景機能を持った広場、情報交流会館の機能等、一体的に検討できる資料として複数パターンの提案が必要。 ・ 上記検討にあたり、コンセプトを決め、それに合せた機能や配置、デザインイメージを検討する。 ・ 整備範囲は、農業関係部署との調整が必要なため、早めに検討する。
(10) その他	・ 次回日程は決まり次第、改めて連絡する。